

第1回 ぎふ長良川花火大会 盛大に開催

8月11日の夜、第1回ぎふ長良川花火大会(同実行委員会主催)が長良川河畔で開かれ、今回から新たに導入された有料観覧席と協賛社席には約2万2千人が来場しました。

長良川の花火大会は新型コロナウイルスの影響などで2020年から中止しており、4年ぶりの開催となりました。

約1万発の色鮮やかな花火が次々と夜空に大輪の花を咲かせ、岐阜市に夏の風物詩が輝かしく復活しました。

大会テーマは「平和に願いを込めて」。約1時間にわたり5章からなるストーリーを音楽とともに展開しました。

過去最大となる打ち上げ幅約600メートルの「超ウルトラワイドスターメイン」で幕を開け、ウクライナ国旗をイメージした平和を願う花火や清流長良川を表現した淡い水色の花火、スターメインの連続打ちといった迫力ある演出が繰り広げられ、ファイナールを飾ったウルトラスターメインの壮大さに、観客からは大きな歓声や拍手が沸き起こりました。

長良川右岸には約1万7千席の有料観覧席(最前列席・三脚持込可能席・階段席など)を設け、チケットは完売。雑踏事故の防止と運営資金の安定確保を図りました。また、岐阜商工会議所の協賛社席で観覧した方からは「混み合うことなく、用意された席で花火を鑑賞できて快適だった」という声が寄せられました。

大会実行委員会の村瀬 幸雄会長(岐阜商工会議所会頭)は「県民、市民、経済界の心強い後押しのおかげで花火大会を復活させることができました」と協力を感謝しました。

御礼

第1回ぎふ長良川花火大会は、盛況のうちに無事に終了することができました。国土交通省、岐阜県、岐阜県警察本部、岐阜中・北・南警察署、岐阜市消防本部、岐阜中・北消防署など関係機関、地元自治会、地域住民の皆さま、ご協賛いただいた企業のご支援とご協力に厚くお礼申し上げます。

ぎふ長良川花火大会実行委員会